

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-5
環境保全の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

廃棄物対策課長 伊藤 耕

電話番号

0852-22-6173

事務事業の名称		環境ホルモン対策事業
目的	(1) 対象	県民
	(2) 意図	環境省が実施する一般環境中の既存化学物質の残留状況の把握調査に協力する。
事業概要	環境省が実施する、環境中の化学物質の濃度レベル及び経年変化の把握を目的としたモニタリング調査に協力し、県内において大気に含まれる化学物質の濃度を分析するための検体採取を行う。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	化学物質環境汚染実態調査への協力の有無	目標値		1.0	1.0	1.0	1.0	協力回数
		取組目標値							
	式・定義	IF(協力実施,1,0)	実績値	1.0	1.0				
			達成率	-	100.0	-	-	-	
2	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	-	-	-	-		-

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	369	641
うち一般財源(千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

隠岐の島町の国設隠岐酸性雨測定所において、委託先・隠岐保健所とともに年1回(4日間)のサンプリングを実施するほか、国主催の環境セミナーに参加している。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

人の健康や生物系に対して問題があると考えられる化学物質による大気汚染を、統計的かつ定期的に測定することにより、環境中での挙動や汚染レベルの水位の監視に貢献している。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

国費により委託費が措置されており、技術的・作業的な面においても特に問題は生じていない。

②困っている状況が発生している「原因」

なし

③原因を解消するための「課題」

なし

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

環境省が実施する大気モニタリング調査の実施に今後も継続して協力する。